

三月十五日(土)

開場 九時  
講演 十時〜十七時

十六日(日)

開場 八時三十分  
講演 九時〜十六時三十分

参加費 二日参加

一般 六千円  
主催 会員 五千円(協賛、後援団体)  
二日参加 一般 一万二千円  
主催 会員 九千円(協賛、後援団体)

会場 西陣織会馆 五階特設会場  
(京都市上京区)

第三回 日本の農業と食シンプodium in 京都

人々を生かす日本の農業

自然な農業と自然な食

主催 日本豊受自然農株式会社

NPO法人 元氣農業開発機構

日本ホメオパシー医学協会



成瀬一夫  
NPO法人 元氣農業開発機構  
幹事長



由井寛子  
日本豊受自然農株式会社代表 農民  
日本ホメオパシー医学協会 JPHNA 会長



岩元睦夫  
農林水産省  
元農林水産省  
農林水産技術会議事務局局長



小名木善行  
国史研究会代表  
プロジェクト・主宰  
むらとこと主宰



小谷宗司  
NPO法人 自然科学研究所  
理事長

●会場アクセス



- 地下鉄丸太線 今出川駅 徒歩約7分
- JR京都駅から タクシー約10分

私たちは、東日本大震災の被災地に様々な物資をもって震災の一週間後、三週間後と合計四回ほど行きました。その度に痛感したことは、みなが求めているものは何よりも水と新鮮な野菜だったということです。災害のみならず世界情勢が不安な昨今、あらためて日本の農業を立て直さないと有事の際に大変なことになると思えました。

今、この日本の食や農業には様々な問題があります。種の問題(下・遺伝子組み換え)や農業・肥料による弊害は深刻です。ではいかに農業には、化学調味料や防腐剤など添加物が入ったものが多く、子どもたちに食べさせようのか不安といふのが現実ではないでしょうか。海外からの輸入野菜・果物などの食料品も同様です。食を見直して、自然の食に委ねること、アトピーや喘息が改善したケースも多々あります。

生物が共存する日本古来の自然農や自家採種を復活させ、素材を生かした添加物のない自然な食を食べられるようになるために、三月十五日、十六日、第三回日本の農業と食シンプodiumを京都にて行います。食や農業、環境の改善、そして、健康に生きるためにはどのような生活をしたらいかがを知りたい方は、ぜひお越しください。また、当日はホメオパス(下イソ)の自然療法、ホメオパシーの治療家による個別の症例発表も行います。

みなさまが心も体も健康に生きることができまますように、そして、自分自身の目的を達成できますように、その契機となりますことを心から願い、みなさまのご来場を心よりお待ちしております。

日本豊受自然農株式会社代表 農民

由井寛子



特大特大でぐんぐん成長する健康野菜の苗。農産物が中心となる健康なハーブは栽培が簡単。ホメオパスの力で自然な食生活をサポート。

日本豊受自然農株式会社 東京事務局 〒154-0001 東京都世田谷区池尻二丁目30番14号 CHhome 内  
TEL 03-5779-8011 FAX 03-5779-6448 Email info@toyouke.com  
特設サイト <http://toyouke.com/kyoto2014/index.html>

